

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備基本・実施計画業務委託に係る
企画書類質疑回答について

企画書類について		回答日
質疑	回答	
・トイレの新設の要不及び整備範囲 基本計画P6「表4-1ゾーニング・機能・主要施設一覧」及びP8「図4-1計画平面図」にはトイレの記載がありませんが、仕様書P3「6.企画提案事項（4）」には「公園利用者の多様な利用形態に対応できるトイレ空間の形成」と記載されています。 本業務では、公園内にトイレを新設することが前提でしょうか。それとも、広場でのイベント開催時を含め、道の駅の既存トイレを活用する計画も認められるでしょうか。新設を必要とする場合は、想定する利用規模、便器数及び必要な設備・機能をご教示ください。 既存トイレの活用を想定する場合は、公園利用者が使用できる時間帯や利用条件をご教示ください。	仕様書P3「6.企画提案事項」に「公園利用者の多様な利用形態に対応できるトイレ空間の形成」と記載しているとおり、本業務においては、公園内にトイレを新設することを前提としています。このため、道の駅・JA東とくしま（よつてね市）の既存トイレの活用のみをもって必要機能を満たす計画は想定していません。 新設トイレの規模、便器数及び設備・機能は、現時点で町が一律に固定した条件を定めるものではありません。また、多様な利用形態に対応できるよう、バリアフリー対応を含む計画の提案をしてください。 なお、既存トイレについては補完的な利用を妨げるものではありませんが、その具体的な利用条件については、道の駅・JA東とくしま（よつてね市）の運営条件に応じて整理することになります。	10月19日
・小川・せせらぎの整備方法及び水路利用の条件 基本計画P6の表4-1及び仕様書P2「6.企画提案事項（3）」に示されている親水空間について質問します。 ポンプによる揚水等を用いて、子どもが水遊びできる小川・せせらぎを整備する提案は可能でしょうか。なお、安全性、衛生管理及び維持管理性を確保することを前提とします。 併せて、既存水路からの取水・放流に関する条件、水路管理者及び関係地権者等との協議状況、今回整備の対象範囲をご教示ください。また、今後必要となる関係者との協議・調整について、町と受託者の役割分担をご教示ください。	基本計画P6「表4-1ゾーニング・機能・主要施設一覧」及び仕様書P2「6.企画提案事項」に示す親水空間については、安全性、衛生管理及び維持管理性が確保されることを前提として、ポンプによる揚水等を用いた子どもの水遊びが可能な小川・せせらぎの整備を提案することは差し支えありません。 ただし、実現に当たっては、導入方式、水源、水質管理、循環方法、排水処理、転倒防止等の安全対策、維持管理負担及び事業費を十分に踏まえた計画としてください。また、既存水路の活用については、現時点で町として取水・放流条件等を確定しているものではなく、取水・放流を伴う提案を行う場合は、関係法令、管理区分、流量、水質、維持管理及び周辺利用への影響を十分確認したうえで、実現可能性にも配慮して提案してください。 水路管理者、関係地権者等との協議状況については、現時点で提案条件として個別に整理済みのものではなく、必要な協議・調整は今後の設計段階で行うことを想定しています。 町と受託者の役割分担については、受託者において必要な条件整理、課題抽出、関係者協議に必要な資料作成及び技術的説明支援を行い、町において関係機関及び関係者との協議・調整主体となることとします。ただし、具体の進め方は、提案内容及び設計の進捗に応じて協議のうえ整理するものとします。	10月19日
・恐竜学習・PR・化石発掘体験機能に係る屋内空間及び空調設備の可否 基本計画P6の表4-1及びP8の図4-1に示されている、広場ゾーンの恐竜学習・PR・化石発掘体験・モニュメント展示等の機能について質問します。 これらの機能は、屋外又は屋根付きの半屋外空間で実現する計画とし、空調整備を備えた常設の屋内展示室・学習室等の整備は必須ではない、という理解でよろしいでしょうか。 屋内空間の整備が必要な場合は、必要な諸室・規模及び展示物や保管資料等に求められる温湿度管理などの条件をご教示ください。	基本計画P6「表4-1ゾーニング・機能・主要施設一覧」及びP8「図4-1計画平面図」に示す広場ゾーンの恐竜学習、PR、化石発掘体験、モニュメント展示等の機能については、お見込みのとおり、屋外又は屋根付きの半屋外空間を前提としており、現時点で空調設備を備えた常設の屋内展示室・学習室等の整備を必須条件とするものではありません。 屋外・屋内を問わず提案に当たっては、利用者の安全性、快適性、展示内容、運営方法、維持管理性及び事業費を踏まえ、必要な規模、構造及び設備内容を適切に設定してください。 また、展示物又は保管資料の内容によって特段の温湿度管理等が必要となる場合は、その必要性を含めて提案者において整理し、必要な機能として提案してください。 なお、現時点で町として必要諸室、面積規模、展示物の保管条件、温湿度管理条件等を個別具体的に指定するものではありません。	10月19日
・バスケットコートの配置変更の可否 基本計画P8の図4-1では、③駐車場ゾーンAにバスケットコート（3×3コート1面）が配置されています。ボールの飛び出し防止、車両動線との分離、保護者による見守り、休憩・荷物置場の確保及び周辺への騒音に配慮したうえで、バスケットコートを、他ゾーンに変更する提案は可能でしょうか。	基本計画P8「図4-1計画平面図」において、バスケットコートは③駐車場ゾーンAに配置していますが、これは現時点の基本計画上の想定配置を示すものです。 本業務の提案においては、ボールの飛び出し防止、車両動線との分離、保護者による見守り、休憩及び荷物置場の確保並びに周辺環境への騒音配慮等が十分に整理され、計画全体の利便性、安全性及び実現性が確保される場合には、他ゾーンへの配置変更を含む提案も可能です。 ただし、配置変更に当たっては、各ゾーンに求める機能や動線計画、駐車場計画、周辺施設との関係及び事業費への影響を踏まえ、計画趣旨との整合が図られていることを求めます。 なお、最終的な配置については、提案内容を踏まえたうえで、基本設計及び実施設計段階で協議、調整するものとします。	10月19日

・大屋根・ステージの照明、音響及び電源設備の整備範囲 基本計画P8の図4-1及び仕様書P2「6. 企画提案事項（1）」に示されている大屋根施設及び野外ステージの設備について質問します。今回の整備では、日常利用に必要な基本照明及びイベント用の電源・コンセントを常設し、音響設備及び舞台演出の照明設備については、原則としてイベント主催者による持込み又は仮設対応を想定してよろしいでしょうか。 常設の音響設備・舞台照明設備が必要な場合は、要求する機能・水準及び今回の整備範囲をご教示ください。また、防災用の非常用電源設備とは別に、イベント用電源として確保すべき容量等の条件がある場合はご教示ください。	基本計画P8「図4-1計画平面図」及び仕様書P2「6. 企画提案事項」に示す大屋根施設及び野外ステージについて、基本照明、電源・コンセントは常設とし、現時点で常設の音響設備及び舞台演出用照明設備の整備を必須条件とするものではありません。 常設の音響設備又は舞台照明設備を提案する場合は、その必要性、想定する利用場面、管理方法及び維持管理負担を含めて整理したうえで提案してください。なお、現時点で町として、常設の音響設備、舞台照明設備又はイベント用電源容量について個別具体的な要求水準を定めているものではありません。また、防災用の非常用電源設備とは別に確保すべきイベント用電源容量についても、現時点で一律の指定はありません。	10月19日
・大屋根の規模及び構造形式・屋根材料の提案範囲 基本計画P8の図4-1では、大屋根・ステージの規模が35m×30m、約1,050㎡と示されています。 この寸法及び面積は。提案に当たって確保すべき必須条件でしょうか。それとも、必要な機能や利用規模を満たすことを前提として、他ゾーンにまたがるような設置といった形状・寸法・面積の調整が可能な参考規模でしょうか。施設の配置変更について、遵守すべき条件がある場合はご教示ください。 また、仕様書P2「6. 企画提案事項（1）」に示される耐風・耐震性及び経済性を確保し、事業全体の工事費上限額の範囲内に収めることを前提として、構造形式、柱配置、屋根形状及び屋根材料は提案者の裁量により計画してよろしいでしょうか。	基本計画P8「図4-1計画平面図」に示す大屋根・ステージの35m×30m、約1,050㎡という規模は、現時点における基本計画上の想定規模を示すものであり、提案に当たって一律に遵守すべき必須寸法及び必須面積を示すものではありません。 したがって、仕様書P2「6. 企画提案事項」に示す求める機能、利用規模、安全性、耐風性、耐震性、維持管理性及び経済性を確保し、かつ事業全体の工事費上限額の範囲内に収まる場合には、形状、寸法、面積及び配置について調整した提案は可能です。 また、他ゾーンにまたがる設置を含む配置変更についても、ゾーニングの考え方、公園全体の動線計画、イベント利用、周辺施設との関係、景観、維持管理及び事業費との整合が図られている場合には提案を妨げるものではありません。ただし、施設の配置及び規模の検討に当たっては、各ゾーンに求める機能を著しく損なわないこと、利用者の安全性及び利便性が確保されること、周辺施設や駐車場計画との整合が図られること、管理運営上支障が生じないことを条件とします。 なお、構造形式、柱配置、屋根形状及び屋根材料についても、上記条件を満たすことを前提として、提案者の裁量により計画してください。 ただし、関係法令、必要な構造性能、施工性、維持管理性及びライフサイクルコストに配慮し、過大又は過剰な施設とならないよう適切に計画してください。	10月19日
・想定するイベント及び主催・運営団体 基本計画P9「4-2. 管理運営の考え方」に示されている、地域の行事との連携及びマルシェ・体験イベント等の開催について質問します。 大屋根・ステージ、マルシェ開催場所及び関連設備の規模を検討する前提として、現時点で想定されている主なイベントの内容、主催・運営団体、開催頻度、開催時間帯、想定来場者数・最大同時利用人数及び出店数などのイメージについて、分かる範囲でご教示ください。	現時点では、特定のイベント内容、主催又は運営主体、開催頻度、開催時間帯、来場者数、最大同時利用人数及び出店数等について、具体的に定めているものではありません。 地域行事との連携やマルシェ、体験イベント等は、公園の利活用の方向性を示すものであり、今後の検討や関係者との調整により整理していくことを想定しています。 このため、大屋根・ステージ、マルシェ開催場所及び関連設備の規模等については、計画趣旨に沿って、想定される利用方法等を踏まえ提案してください。 参考「道の駅マルシェ」（阿波かつうらブランド推進協議会事務局主催）11月頃 R7 来場者2,500名、出店者32店舗 R6 来場者1,500名、出店者44店舗 「さくら祭り」（生名ロマンの会主催）3月下旬から4月上旬 R7 来場者約25,000名 R6 来場者約25,000名	10月19日
・対象地の地盤情報 大屋根の設計にあたり、地盤調査データをご提示いただけますでしょうか。 計画地が河川敷であるため地耐力が低い可能性があり、プロポーザル案ご提案時の概算コストの算出に大きく影響してまいります。 近隣の調査結果でも差し支えございませんので、入手可能なデータをご共有いただけますと幸いです。 また浸水リスクの検討のために、可能であれば当該敷地の標高データ等（計画敷地の標高（OPまたはTPとの関係））の情報もあわせてご教示いただけますと幸いです。	現時点では提供可能な地盤調査データはありません。地盤調査は今後実施する予定です。 計画敷地の標高データは、必要に応じてご連絡いただければ提供可能です。データが必要な場合はご連絡ください。	10月19日
・工事費上限額及び対象範囲 実施要領P2に記載されている提案上限額52,200,000円（税込）は、本設計業務委託の上限額と理解しています。 企画提案及び概算工事費の算定に用いる、公園整備工事費上限について、消費税の取扱いを含めてご教示ください。 併せて、当該工事費に含めるべき範囲について、造成・排水工事、既存水路の付替え・改修、大屋根・BBQ棟・トイレ等の建築工事、遊具・親水施設、電気・給排水設備及び備品等の取扱いをご教示ください。別途工事又は別途調達を予定しているものがある場合は、その内容もご教示ください。	概算工事費は、目安として考えてください。概算工事費の算定に当たって対象とする範囲は、公園整備の実現に通常必要となる造成、排水、園路広場、既存水路に関連する必要な改修、大屋根、BBQ棟、トイレ等の建築工事、遊具、親水施設、電気設備、給排水設備等を含むものとして整理してください。	10月19日
・提案書の様式 提案書の様式はA4用紙10枚となっておりますが、対象地が大きく、紙面で納めることが難しいため、A3用紙5枚または一部A3用紙の差し込みをすることは可能でしょうか。	可能です。A3用紙を用いる場合は、1枚につきA4 2枚とカウントしてください。	10月19日